石橋湛山「我に移民の要なし」

大正二年五月十五日号「社説」

　北米合衆国のカリフォルニヤ州議会はついに外人土地所有禁止案を可決通過せり。けだし独りカリフォルニヤ州民のみに止らず、同国民がややもすればすなわち東洋人殊に最近においては我が国民を排斥せんと企つるは、理窟の上のことにあらずして感情の問題なり。その根は深く人種の相違に存す。されば仮令一時は条約を盾とし、法律を武器として、その運動を阻止し得たりとするも、彼らは何時かその排斥の実を挙げずんばやまず。かくてカリフォルニヤ州議会はいくたびか排日的法案を可決せんとして失敗したるも倦まずこれを繰り返し、ついに今回外人土地所有禁止の形を以てこれに成功するに至りたるなり。けだし世に困難なる問題は決して少なからずといえども。人種問題の如く複雑にして至難なるは他にこれあらず。この問題は実に世界文明の行手に横たわる大暗礁なり。されば我が国民はややもすればすなわち米国民を当の敵とし、独りこれを非難すといえども、事は決して日米間のみの問題にあらざるなり。欧州に排日の起らざるはただここに移住せる我が国民のほとんどなきがためのみ。また翻って我が国に排米排欧の運動の起らざるも、米人欧人の我に移住せるはなはだ乏しきがためのみ。もし我が国に米人の大挙して渡来し、例えば台湾に多くの土地を所有し耕作し部落をなし、米人の寺院を建て、学校を建てて。ここに米国の国歌を唱え、米国の政治を謳歌すとせば如何、排米運動の必ずしも起らずとは保すべからず。カリフォルニヤ州には現に我が移民の少なからずあるあり、その利益を一時に所以なく傷害せらるるは堪ゆる処にあらず、故にこれに対し差し当って適当の処置を取るはもとよりなりといえども、問題の根本的解決は単なる日米間の関係ということ以上の広き立場においてなされざるべからず、またなすの要あるなり。

　しからば則ちその根本的解決法は如何。曰く、そはただ一あるのみ、即ち相互の理解これなり。けだし世往々にして武力の万能を信ずる者あり。人種問題の解決の如きまたこれに依らんとす。しかれども思え、戦争によってこれが根本的解決を求むとは、換言すれば結局世界が一国一人種の下に征服統一せらるるまで戦争を継続すということにほかならず、何となれば一より二、二より三と、次第に戦争によって強者が弱者を圧服し行くといえども、その欲望は何時に至らばやむべしとも覚えず、而して互いになお対立する者ある限り、その欲望は常に対手によって阻止せらるるを以て、結局一個の手に全世界のことごとくが征服し尽さるるまで止る処あるべがらざればなり。けだしかくの如きは空想の最もはなはだしきもの、戦争は決して人種問題に根本的解決を与うるものにあらざるなり。もし各国にしてこれによってこの問題を解決せんと企つることあらんか、そは各国の共倒れにして、全世界が一国一人種の下に統一せらるる前に世界の文明は地を払って失われん。人類あにかくの如く無智ならんや。しからば則ち残るはただ相互の理解によって平和の中にこれが解決の途を見出す一あるのみ。吾輩はここにおいて我が邦人に告げん。我が邦人は果して常に世界の人民と親善なる理解をなすに努めつつありや、その今回米国民に対せる態度の如き果してこの理解を破壊する恐れあるものに非ざりしや否やと。米人決して罪なきにあらず、白人もとより偏見あり。しかれども彼らに偏見あり、罪ありとて、我また罪を犯し、偏見を抱きて可なりとの道理は一もこれあらず。彼らに罪あり、偏見あらば、我はむしろかえってこれを棄て、あくまで正しき道理の上に行動してこそ、初めて日本の日本たる立場あり。邦人果してこの覚悟あり、この覚悟を以て常に行動せるや否や。

　思うに今我が国民は一の謬想に陥れり。人口過剰の憂ということこれなり。政治家、評論家はこれに因って即ちあるいは大陸発展を唱え、あるいは北守南進を主張す。もとより言う者によってその理由とする処は種々これあるべしといえども、その最後の口実は常に人口問題なり。而してたまたま非帝国主義を唱うるものあるも、談一たび人口の過剰を如何との点に及べばたちまち口を閉すの常なり。カリフォルニヤ州の土地所有禁止案が異常の熱を我が国民に起せるまたこの理由にほかならず。しかれども吾輩は思う。我が人口は果してしかく過剰なるか。近頃内地米の供給ようやく人口と比例せざるに至りたるを以て、人ややもすればすなわち食料の不足をいい、而して食料の不足は即ち直ちに人口の過剰を意味する如く考うといえども、内地産食料の不足せるは必ずしも我が邦に限らず。文明国の多くはほとんど皆その大部か、もしくは一部を他より輸人せざるなし。けだし古交通機関の未だ備わらざる時代は、もし内地の食料不足せば是非ともその過剰の人口はこれを外に出すか、もしくは生産を防止するかよりほかに、始末の途なかりしならんも、今日は全くこれと異なれり。工業盛んに起り、貨物の外国に出すこと多きを得ぱ、食料は仮令国内に一粒一片の生産を見ざるもまた意とする処にあらざるなり。しからば則ち控ゆるに東洋、南洋、ないしアメリカの大市場を以てし。而して食料はこれをアメリカ大陸に求むるも、インドに求むるも、支那に求むるも自由自在なる我が邦があに六千万、七千万の人口に過剰を苦しまん。吾輩は我が国民がかくの如き根拠なき謬想に駆られて、いたずらに帝国主義を奉行し、白人の偏見に油を濯ぎ、はては米人の嫌がるを無理に移民せんとするなど、無益の葛藤に気を疲らすの、まことに愚なるを思わずんばあらざるなり。

　各国の国民互いに十分に理解し、どこに移転し、住居するも、互いに何らの疑惑も、猜忌も、感情の齟齬も来さず、世界を挙げて一家の如く睦むは理想なり。しかれどもこは今直ちに求むるも得べからず。しからば則ちやむをえず、しばらく各国民は互いに相警め、出来得る限り相互の感情を尊重し、融和を求めて生活するのみ。これ自己ないし一般人類の利益なればなり。カリフォルニヤ州民がむげに我が移民を排斥せんとするにはもとより非難の余地ありといえども、さればとて我また暴に応うるに暴を以てするに及ばざるなり。条約において主張すべき権利あらば主張すべし。既得の利益の所以なく損傷せらるるあらばこれが償いを求むべし。しかれどもアメリカの富源は移民にあらずんば利用せられざるものにあらず。我は決して強いて彼に移民を送るの要なきなり。而して日米人間の理解に阻碍を与うるの要なきなり。吾輩はこの点において我が国民の誤るなからんことを警告する者なり。